

五島灘酒造 蔵開き



発売前に本格芋焼酎「五島灘」を試飲する来場者
—新上五島町有川郷、五島灘酒造

4種類の焼酎、順次販売

【上五島】新作など四種類の焼酎発売を前に、「五島灘酒造」(田本喜美代社長)の酒蔵開きが五日、新上五島町の同社であった。

同社は昨年二月、国の規制緩和で新規参入。十月に発売した本格芋焼酎「五島灘」は好評を得ている。今回発売するのは▽白麹(こし)五島灘▽黒麹五島灘▽五つ星▽教会(いのり)の島は後味が辛口という。白麹五島灘と黒麹五島灘は十六日に発売し、七百二十リットル(千四百九十一円)と一・八リットル(三千四百五十五円)がある。五つ星と教会の島は七月に販売を始める。それぞれ七百二十リットルで、五つ星は三千五百五十円、教会の島は未定。白麹五島灘と黒麹五島灘、教会の島

一人で元気に入学式

中学生生活 慣れたい

中学校



入学式で元気に校歌を歌う榎田大介君(手前)
—五島市、花島小中学校

披露踊りこいよさや試飲

県立対馬高・国際文化交流コースの講師として昨年九月に着任。今年三月に東京で開かれた「第二回話してみよう韓国語高校生大会」のスキット部門では同コースの一年生ペアが最優秀賞に選ばれ、教師としての喜びを味わった。



あの人 この人

対馬高の韓国語講師 金公

文化の境

は、同社やホームページ(h ttp://www.goto nada.com/)、県内の小売店で購入できる。五つ星は新上五島町と五島市の小売店、同社で扱う。酒蔵開きには、多くの町民らが訪れ、田本社長は「もつと皆さんから愛される五島灘酒造となるように精進していく。酒蔵開きを、新上五島町の春の風物詩として定着させていきたい」とあいさつ。よさこい踊りの披露やもちまきなど多彩なイベントを用意し、会場を盛り上げた。五島灘の試飲や黒麹五島灘の先行発売もあり、来場者は出来たての焼酎を楽しんだ。

過疎化が進み、現在の同校の生徒数は小学生一人、中学生三人。うち、中学校に入学した榎田大介君(一三)が式に臨んだ。一人だけの入学式は二〇〇六年度以来。才津久高・市教育長や地元住民、教師ら約二十人が見守る中、学生服姿の榎田君が緊張した面持ちで体育館に入場。森清隆校長が「真新しい学生服が明るい表情とともに輝いて見える。心身ともに大きく成長してほしい」と激励した。榎田君は壇上で「二番の願いはみんなと仲良くすること。一日も早く中学生生活に慣れて新し